



楠隼中学校・高校だより

全国から生徒が集う全寮制中高一貫教育校



中学校 「弾き語り有希乃ミニコンサート（寮夜話）」が行われました

1月9日の夜、寮生夜話では初となる「弾き語りコンサート」が楠隼ホールで行われました。シンガーソングライターの有希乃さんは心理学を学ぶ大学2年生です。この企画の趣旨は有希乃さんに、歌に込めた思いを伝えて頂き、「伝えることの大切さ」を考え、体感することでした。

コンサートには寮生の約83%に当たる195名の寮生が事前に申込み、生徒は前日からとても楽しみにしていました。

寮生にとつて弾き語りのコンサートは普段体験できない貴重な体験です。有希乃さんは1曲ずつ歌に込めた思いを説明しながら歌ってくださいました。

また、他の男性アーティストの楽曲も女性シンガー用にアレンジをして披露して頂きました。約40分という短い時間でしたが、生徒は静かに曲に聴き入り、心を癒やされるひとときとなりました。

中学3年生の玉利君は「今日は楠隼へ来て頂きありがとうございます。普段、寮清掃などで聞いていた曲を、生で聞くことができ感動しました。歌詞もギターもかっこよかったです。これからも楠隼生全員で応援していきます。」とお礼の言葉を述べました。

コンサートの後、生徒たちはサインをお願いしていました。歌に込められた思いを受取り、今後の学校生活を充実させてほしいと思います。

高校 センター試験が行われました

高校3年生が、1月19（土）、20日（日）に、大学入試センター試験に挑みました。入試本番に先立ち、1月8日の始業式のあと、高校3年生の入試激励会が行われました。生徒会長から激励のあいさつがあったあと、全校生徒から気合いの入った応援エールがありました。高3生を代表して、3年2組の喜村君は、「これまで頑張ってきたことを発揮できるように全力で頑張ります。」と力強く語ってくれました。周りの応援を力に変えて、センター試験まで全力を尽くしてきた3年生。当日は、全員元気に試験会場に出発しました。

会場は鹿屋体育大学でした。近隣の高校生も集い、大隅地区で切磋琢磨してきた子どもたちが、場を同じくしてそれぞれ力を出し合いました。朝から夕方までの長丁場ですが、集中力を切らさず、走り抜けていました。昨年卒業した高校1期生の背中を追いかけつつも、自分たちならではの歴史を積み重ねてきた彼らの努力の集大成として、自分たちの進路を決める大きな勝負に向かう背中が、頼もしく大きく見えたことに、彼らの成長を実感しました。このセンター試験の結果を受けて、出願校が決定します。子どもたちはそれぞれ、さまざまな進路選択をしていきます。このセンター試験を一つの通過点として、合格まで職員生徒一丸となって走り抜けます。

会場は鹿屋体育大学でした。近隣の高校生も集い、大隅地区で切磋琢磨してきた子どもたちが、場を同じくしてそれぞれ力を出し合いました。朝から夕方までの長丁場ですが、集中力を切らさず、走り抜けていました。昨年卒業した高校1期生の背中を追いかけつつも、自分たちならではの歴史を積

